

# 津高同窓会報

発行所  
津市新町3丁目1-1  
津高等学校  
同窓会事務局  
TEL・FAX 059-229-7331  
共立印刷株式会社

五零会に思う	2
私は津中の子	2
流通革命への招待	3
老健の「語りべ」私	3
紙がなくなる日	4
母校は遠きにありて思ふもの	4
同窓会副会長就任にあたって	5
「若女将」	5
行き先は世界遺産	6
熊本インターハイに参加して	6
津高進路事情	7
異動(住所変更など)	8・9

# 二十一世紀はじめての出逢い



年の瀬もおしつかりましたが、  
会員の皆様には各県各地で活躍  
のこころ大慶に存じます。  
昨年(平成12年)の津高創立百二十周年記念  
事業は企画委員会、実行委員会他  
各役員、会員の方々の協力によ  
り、滞りなく成功裡に終了するこ  
とができました。また本年四月に  
は、記念事業の一環として校の若  
木二十本をグラウンドの周囲に植  
樹させて頂きました。心から敬意

同窓会長 岡村初博(昭和15年卒)

と感謝を申し上げます。  
特に三重校部会は県立津高女  
立百周年を区切りとして総会は最  
後とされましたが、貴重なお厚志  
を同窓会基金として寄贈いた  
さましたこと厚くお礼申しますと  
共に、ご健勝を心からお祈り致し  
ます。これからも総会パーティー、  
役員会等に華を添えていただきま  
すようお願い致します。  
さて輝かしい二十一世紀の到来  
が期待されてきましたが、国内で  
は改革の風が吹き、又九月十一日  
発生した「米同時多発テロ事件」  
等、将に世紀末の世相と云っても  
過言でない様相となってきてしま  
います。最後になりましたが、皆様のご精  
進(健康をお祈りして)ご挨拶と致  
します。



タイトル・書「本年度同窓会パーティーテーマ」 千草 光洞(昭和23年卒)  
絵「秋日——一身田」 大浦 峰郎(昭和43年卒)

12月1日より津高同窓会のホームページが開設されます!!  
★ホームページ★ <http://www7.ocn.ne.jp/~tsukou-d/>  
☆メールアドレス☆ [tsukou-d@axel.ocn.ne.jp](mailto:tsukou-d@axel.ocn.ne.jp)

会員の皆様におかれましては、ご健  
勝にてご活躍のことお慶び申し上げ  
ます。平素は、さまざまな角度から本  
校教育活動に暖かいご理解とご支援を  
賜り心から感謝いたしております。昨  
年の本校創立百二十周年を記念して、  
桜の苗木二十本を、さらには視聴覚  
室及び図書館の機能充実のためのコン  
ピュータ等を寄贈していただきました。  
ここに改めて母校発展のためにお  
寄せいただきました同窓会員の皆様の  
暖かいご支援に深く感謝しお礼を申し  
上げます。



さて二十一世紀暮開きの本年は、内  
外に厳しい情勢の中で多くの課題  
を抱えたまま暮れようとしており  
ますが、新たな歴史への第一歩  
を踏み出した本校は、力強く前進  
しております。平成七年から学校  
週五日制が月に二回となり、授業  
時間が減少したことから、それ  
までの三学期制を二学期制に変え  
て実質的授業時間の確保を図っ  
てきましたが、いよいよ来年度は  
学校完全週五日制となるため、い  
っそう授業時間確保のための工夫  
が必要となりました。そこで、行  
事を精選するとともに、六十五分  
授業(六十五分五限)に取り組むこ  
ととしました。現在、シラバス(年  
間授業計画)に基づき授業内容の  
充実に向けた研究をはじめ、新し  
い学習指導要領の実施について全  
教職員で検討しているところです。  
(一)つた動きの中、生徒たちは、

運動・文化部活動、生徒会にと生  
き生きとした学校生活を送って  
おり、今年も多方面にわたる活躍に  
目を見張るものがありました。ま  
た、夏休みには、希望者を募って  
マレーシア海外研修を実施し、国  
際理解教育として成果をあげるこ  
とができました。  
急速に進化する少子高齢化、情  
報化、国際化等に対応し、学校は  
今後ともさまざまな改革を行って  
いくこととなりますが、自主自律  
の精神のもと、自ら学ぶ生徒を育  
てる進学校という特色をより鮮明  
に打ち出していきたいと思ってお  
ります。また、「開かれた学校」  
を旨とし、保護者や地域の方々  
、関係機関等と一っそう連携を深め  
ていきたいと考えております。今  
後とも、生徒・教職員一丸となっ  
て津高の発展に努力を怠りませ  
ぬよう、同窓の皆様のさらなる  
ご指導とご支援をお願いいたしま  
す。最後に会員の皆様方ますます  
のご活躍とご健勝をお祈りして  
ご挨拶といたします。

## ご挨拶

学校長 鈴山 雅子(昭和35年卒)



奥田 務(昭和33年卒)

## ふるさと賛歌

どうしてこんなに明るく、心豊か  
に過ごせたのか。私は頂戴したお手紙に籠めら  
れた熱い思いの中に、単に過ぎ去  
りし少年時代のノスタルジーだけ  
ではない人間にとつて最も大切な  
ものを改めて確認することができ  
たように思います。  
それは豊かな自然環境、ゆった  
りと流れる時間、互いを思いやる  
暖かい人間関係であり、将来に向  
けての目標や夢を持つことの大切  
さです。特に、当時は、戦争が終  
わった安堵感、新しい時代が始ま  
るうとする復興期待特有の昂揚感、  
不安の中にもそれにも増して将来  
への期待感が大人から子供までを  
一様に支配し、元気づけていまし  
た。

「生まれしたのは三重県の津市で  
すが、少年時代の思い出が詰まっ  
たふるさととは少し離れた松阪市で  
す。終戦直前、五歳の時に当時ま  
だ松阪市に編入されていなかった  
射和(いざわ)村というところに  
母親の養家があり、疎開しました。  
終戦後、地元小学校に通いまし  
た。通学路は片道三〇〇四〇分か  
かる山道でした。夏は暑く冬は寒  
い。雪もよく降って寒ではなかつ  
たですね。子供はワラのぞりりが  
普通でした。先日、小学校時代の  
仲間が集まった際に当時の写真  
を見ましたが、自分のみずぼらし  
い姿に思わず笑ってしまいました。  
私の家は旧家で、特に貧しかった  
わけではありません。日本中、物  
がなかったんです。でも、学校帰  
りに大きな池に飛び込んで泳いだ  
り、山でマツタケ採りをしたりと  
毎日楽しかった。兄(奥田 碩・日  
経連会長)と仕事帰りの父親を迎  
えに行く途中、びっくりするよう  
な木々の大群が光を放っていた  
情景も覚えています。うきうき追  
いかの山、という唱歌の「故郷  
を聞くと、おれの子供のころそ  
のままじゃなかつたか」と思っ  
た。それ以上に自然豊かな土地だ  
と。かく、あの頃はモノが無い  
時代であり、みんな物質的には本  
当に貧しかったにもかかわらず、

(大丸百貨店取締役社長)

# 五零会に思う

岩崎次郎 (昭和9年卒)



私共のクラスは昭和四年四月、当時津市古河にあった津中学校に第五十回生として入学、昭和九年三月第五十回卒業生として卒業した、誠に区切りのよい記念すべき年度に巡り合せたクラスで、五十年という数にちなみ五零会と名乗っている。

同級生に松阪高校長・本居宣長記念館長等を歴任した小泉祐次という松阪市在住の歴史家がいる。同君は五零会の命名者でもあり、お互い老境に入ってから五零会の世話一切をまかされてくれ、卒業後六十七年経った今も会が存続し、会員一同親睦を深め、往事を語つて楽しい会合を持ち得られる

のも、偏に同君の存在あってのことと、と会員一同心から感謝している。

本年(平成十三年)も六月、松阪のフレックスホテルに相集い、青春の日の思い出に打ち興じ、勢の趣くまゝ現在の教育の荒廃を慨いたが、話の行き着くところは毎度のことながら、よき津中時代の郷愁であった。

論幾多の原因のよって集まった結果ではあるが、その主要原因の一つは教師の側にあるのではなからうか。

「忘却とそれを伴う過去の美化が無かったとしたら、人間はどうして生に耐えることが出来るであろうか」と文藝三島田村夫は言っているが、確かに然りである。しかし一般社会情勢が激変し、またエリート教育の一環であった当時の中学校と義務教育となった現在の中学校とを比較すること自体が無理とは言えず、

小倉の洋服を着ていた者は少数であり、この中学のスタイルがエリート感情を醸り、生まれて始めて履く皮鞋にも何か優越感にた嬉びさえ感じ窮屈な服装といった意識は毛頭なかった。

ところで当時の義務教育は尋常小学校の六ヶ年のみで、その上に二ヶ年の高等小学校があり私の卒業した一身田の小学校では、約五分の一が中学校に進学し、五分の三が高等小学校を卒業して社会に出て行った。因みに師範学校は高等小学校を卒業しないと受験資格が無かった。

服装は制服制帽、更に登下校時には巻袖絆(アートの)の着用が決められており、今から思えば明治の文明開化富国強兵の糸を引く軍国主義の端的な現われ、さぞ窮屈なことであらう、と思われれるかもしれないが、然らず、小学校時代はまだ大半が着物が

行し乍ら、在校時間は暫しの自分の時間で、苦しい中に楽しい時間でした。学校では専ら居眠り授業でした。

# 我は津中の子

山本孝圓 (昭和14年卒)



永年歌ったことがないのですっかり忘れていた筈なのに、概ね間違いない歌い終ることが出来ました。

思えば同期の諸君と別れてから何と六十年を経過し今や八十歳に到達しました。

伊勢大廟のあるところ  
神八郡の内にして  
光栄ある里の風は  
万事削ぎ力あり  
祖先の遺流守れ永遠に  
祖先の遺流守れ永遠に

平成十一年五月一日滋賀県大津市びわこホテルで開催した私の喜寿の祝宴の壇上で陳川55の有志十数人が直ぐのパンカラのままで歌ってくれました。

津中卒業時は戦争の最中、我々の青春は滅私奉公一色で、軍務に服することが最優先でした。同期の優秀なる者は、陸海軍の学校へ、他の学校へ進んだ者も総べて学徒動員で戦列に参加しました。

幼少時、母に死別した私は、母への追善と佛道修行の為に出家得度しました。松阪来迎寺から津中へ通学しました。その頃津中は入學難関三重随一でした。佛道修

やと卒業、ついで我が佛道師匠の老衰、病氣看病(妻帯)してない清徳であったに、当たりました。老師を亡くしてから比較山に修学、学業中途で従軍、北滿の國境警備に服務、昭和二十年八月十五日終戦と共にソ連に抑留の身となりました。

ソ連抑留中、奇しくも津中同期の親友世古正彦君に邂逅、一時津中時代を語り話題はつきず、又彼は京大より学徒動員従軍、学殖を傾けて有意義な、戦争批判、共產主義体制のきびしい論評を聞く

宮本芳治、鎌田正邦君の戦死の瞬間を目撃しています。同志と共にその冥福を祈ります。

私はソ連抑留二年三月の後、復員することが出来ました。ソ連での思想教育、労働体験、総べてが修養であり、形之所を変えた佛道修行であったと思われました。それと共に今迄の仏教寺院のあり方、僧侶の布教実践を反省して私なりに努力したいと決心しました。人に申し上げる様な立派なこと何もしなかつたけれど、とに

ことが出来ました。今猶元気でいられ、よき生涯の友人と感謝しております。

我等の中学同期達は国の運命を擔って戦い、戦後はその復興の高歌々として働いてきた、激動に生き抜いて来た、平和の勇士であると思えます。良き働きに来てたと賞賛してあげたい。一生を通じて戦友である様に頼母しく思われます。

「我思源会・岩崎病院理事長」

一九四四年の当用日記がある。私の十五歳、中学三年の日記である。この年は太平洋戦争の終局を一年後にひかえ、戦局は日までに不利となり末期的状况にあった。

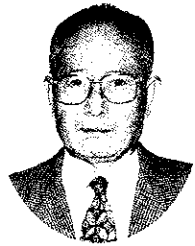
一学期が終わった七月、中学生勤労動員令によって私たちも軍需生産に動員され、まず三菱航空機四日市工場に入所、そして十月から同名古屋大江工場に出向する。

このころ予定紙数が尽きた様である。偶々津中創立五十周年の年に入学した一員として、昭和初期の教育事情の一端を記し筆を擱く。

十二月七日(木)晴寒し  
大厄日！関東大震災に連く大震災は、本日一時五十分来襲して大修繕場を展開した。各工場の万物は揺れ、足もとから水は噴き出し、洪水のように怒濤となつて流れ、壁は落ち、地割れする。熱処理工場(シユラルミン)の焼なまし焼入れ工場は出火し、煙突はおれる。

# 一九四四年の日記

本根史朗 (昭和21年卒)



かの天の大試練あり。今ぞ、大攻勢！  
今晩は、電気がつかず七時から寝る。  
十二月十日(日)晴 暖かし  
六時より笠守駅へ行き東海道線で名古屋駅へ行ったら、三分で鳥羽行に乗りおくれる。八時の閑急(現近鉄)で長島駅まで行き、そこから歩いて桑名駅まで行く。家に着いたのが午後一時過ぎ。家中、大騒ぎして飯をたくやう、風呂をたいて入るやら、じきに二時半半たつた。

今朝、六時起床。三十分で最後の清掃。しつかり片づける。八時半頃、大江寮を出発する。Mと、大江一熱田一名古屋一久居で一時間家へ着く。家でも心配しててくれた。夜はてんぷらとごんごの馳走。

十二月十五日(金)曇のち雪  
朝四時、警戒警報発令。のち空襲警報あり、まっ暗な寒い中をフロンを引きついで入る。結局にもなし。再び十時警報が入り、B29が飛んでいるのに、皆見ていて空襲警報も入らない。夜、映画があったが頭が痛いので寝ていた。

十二月十七日(日)晴  
本日、朝四時B29一機来襲、焼夷弾多数投下。海軍組立て工場、造船所相手がられる。

十二月十八日(月)曇のち晴 暖かし  
大空襲！大爆撃！  
午後二時頃、空襲警報あり、

# 同窓会報告

浜地 篤 (昭和19年卒)

昭和十九年は戦争末期で卒業が困難な時代、大学進学もままならず年度全体としてはあまり元気がありません。しかし、平成十三年四月には同級の野田 貴君が勲四等瑞宝章受賞、渥美俊一君が平成十三年六月号文芸春秋にカリスマ十名の内の一人として寄稿。我が国スパーマーケットのトップリー

グーとして今も尚活躍中です。昨年のクラス会で六零会(60回卒)と命名し、毎年東京と津でクラス会を開催しています。四月には横浜中華街で東京在住者と名古屋、津からの参加者で盛大に行ない、本年はめずらしく十一月一日、名古屋・名鉄ニューグランドホテルで開催しました。

# 流通革命への招待

渥美俊一 (昭和19年卒)



〈四十年前からのプロジェクト〉  
流通革命という言葉を知りたく

それは大型セルフサービス店が百貨店の売上高を抜いて、小売業界の王座に上りついでるというのでありませぬ。それではコップの中の嵐にすぎませぬ。

計画でなしに勝手に、決意しました。僅かな休日を利用して、全国の元気のよい千三社の商店経営者を二人ごとに説得し、チェーン産業づくりの研究会「ベカスカラブ」へと勧誘したのです。

ですが、間もなくマスコミでの発言では犬の遠吠えしかなく（このに気が付きました。一九六〇年代、わが国ではあらゆる分野でアメリカに追いつける復興運動が盛んだったのに、人々の日常生活を守る流通分野は進歩から全く放置されていることに気が付き、ようやく私のライフワークを発見できたのです。

「この場合私の立場は、あくまで経営コンサルタントで、彼らに経営戦略や管理や商品・店づくり対策の原則を教え、間違いや不十分を是正勧告するのが仕事です。そのためには、先進国、特にアメリカのチェーンストア産業の美態をくまなく調査し、その成否の因果関係をたしかめ（帰納法）、さらにそれを体系的な実務理論として論述（演繹法）しなければなりません。

「私の家に狸夫婦が住み込んで子狸が生まれました。」「本当。」「何匹。」「四匹です。」「父親は毛並よく威張っています。母親は毛は抜け乳房は垂れ私に媚び、授乳時は父親が遠くから妻と子を見守っています。」「父親の統率力と家族愛は……。」「その狸、今の若い者にはなげたりたいな。」「ホンマや。」「

「昨日私はふと目にした記事から岐阜県八百津町の杉原千畝の故郷へ手弁当で、一番電車で行って来ました。」「ヘエ。」「命のヒザの？」「ハイ、そうです。」「

「頭の狸と外交官で悩んでいますがこれは私の日課、我が老健ラジオ体操後のショートタイムの情景です。」「平成元年、厚生省の通達で、医療費抑制、高齢化老人対策に老人保健施設設立の号令がかり、一ヶ月の自己負担は約六万円となり

「野公園の西郷さんの足元にいる犬の名を存知ですか。」「ヘエ。」「知らんわ。」「実は薩摩犬の牝で「ツン」と申します。抑々この「ツン」には各々しかじか……。」「私は老健での会話が生半端です。（岡波総合病院理事）

# 愛しの三重桜籠球部会

水井やす子 (昭和15年卒)



六月十一日、今年も出席者三十六名が学年別にテーブルを囲み青春時代を共に振り返った思い出話に花を咲かせました。

思えば昭和四十四年九月二十七日夜若尾先生の二十三回忌の法要を御遺族の方と若尾先生にもご出席頂きまして三十数名で営みまし

お話、後輩の方の踊り等とそれはそれは楽しい一時をすごす会です。暑い夏の陽ざしの下、ボールを追って思いきりコートをかきめくりパスに、ゴールに向かってジャンプシュートと練習に励み、しばし柵欄の木陰に憩い、大きな葉巻に入れたお水を頂きながら秋の試合にいろいろ夢を抱き語り合いました。

多感な少女の日勝った時のうれし涙、負けたくやしきの悲しい涙、みんな素晴らしい青春であり体験でした。チームワークを大切にする競技なればこそ、悲喜をそれぞれ胸に秘めたチームの絆は何よりも

深いものであると信じます。今は皆が七十歳を越えましたが、あの感動は今なお心に焼きついて忘れる事はなく、日々それぞれの道を歩んでおります。時の記念日に会合を持つようになりまして数年になります。亡くなられました先輩の方、失いました後輩の方に淋しさは残りますが、毎年こつこつと集えまます事はこの上ない幸でございます。健全な精神、健全な身体を培って頂いた心の絆は生涯の宝物として誇りにしたいと思います。

平成八年五月九日には部会終了後先生の五十回忌を事前で供養致しました。昭和十四年十一月三日先生に引率され昭和十五年・十六年・十七年卒の私達は明治神宮体育大会に参加致しました。あの感動は一人でも勝る大切な思い出となってあります。和気藹々のこの会場の最後に後

「私の家に狸夫婦が住み込んで子狸が生まれました。」「本当。」「何匹。」「四匹です。」「父親は毛並よく威張っています。母親は毛は抜け乳房は垂れ私に媚び、授乳時は父親が遠くから妻と子を見守っています。」「父親の統率力と家族愛は……。」「その狸、今の若い者にはなげたりたいな。」「ホンマや。」「

「昨日私はふと目にした記事から岐阜県八百津町の杉原千畝の故郷へ手弁当で、一番電車で行って来ました。」「ヘエ。」「命のヒザの？」「ハイ、そうです。」「

「頭の狸と外交官で悩んでいますがこれは私の日課、我が老健ラジオ体操後のショートタイムの情景です。」「平成元年、厚生省の通達で、医療費抑制、高齢化老人対策に老人保健施設設立の号令がかり、一ヶ月の自己負担は約六万円となり

# 私の闘病記

小林澄子 (昭和26年卒)



昭和二十年四月憧れの三重校に入學、昭和二十六年三月戦後の混乱期に卒業、その間、学制改革、

学区制実施(私は住居の関係で久居西校へ)と落ち付かない六年間の高校生活でしたが、今になってみますとその時代が懐かしく思い出されます。卒業後五十年、近年は同窓会ラッシュ(金蘭会、津高二六会、久居東西会「仮称」で、旧友との再会が年中行事の一つとなりつつあります。同じ学会で過ごした者同士、現在は境遇も色々

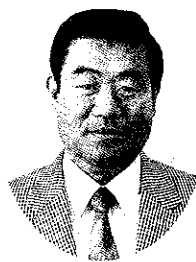
ですがそれを語り合つのもいい勉強になります。古代稀なる年齢まで生かされ、生きながらえた者として残された私の人生の楽しみ一つとなってあります。ところが、四年前から何となく心身の調子が悪く、楽しみにしていた同窓会に出席できなくなりました。色々原因はあるのでしようが、健康で丈夫なだけが取り柄と自負していました。私が、奇る年波と複雑な人間関係には勝てず、不眠、めまい、肩こり、高血圧と所謂ストレス病に悩まされ、自律神経失調で専門医に「うつ病」と診断されました。日夜何をやる気にもなれず、寝たり起きたりでテレビも見たくなく、以前から趣味で水墨画を習っていました。趣味でも嫌でも愛護料を納めているのだから欠席したら勿体ないと思いついて、何とかが教室へ行って

「小林さん此の頃、画が一寸おかしよ」といわれ、でもその通りだから仕方ないと、それに堪えながら何とか過ごしていました。そんなある日、ふと「こんな私はなにか」と思い、寝ても覚めては足がまず駄目になる思考力がなくなる、これは痴呆になる前兆ではないかと等々、自問自答の日々でした。その頃テレビで「周辺の景色を鏡で散歩する事が先大仰」とつづつ病体験者で快復された人の話を聞き、よし私も歩くことから始めようと思いつきました。でも神経の悪戯からか足が思うように前に進まず、友達からも「悪いけどな、あんたおばあさんみたいいな歩き方してるわ」と言われて散歩も恥ずかしかったのですがそんな事には負けてはいけなと自分で自分を奮い立たせ連日近くの中山寺にお詣りし七十七歳の階段を昇り降りし、帰りは少し大廻りをして買物をするまで心がけました。こんな日々が続きましたが、友達はあるがたいもの、大阪近辺在住の女

晴、今後は自分自身が健康に留意し、猫の目の様になる国の施策を並べにせず、生きる目標をそれぞれ決め、「施設などに入るまいぞ、家様よきものは無し」精神で自分出来る健康法の工夫しかない様です。何故なら老健も特養も混雑の態だからです。私はこの十年来入所のお年寄りから数え切れぬ教訓を頂きました。毎日時間を決め小物作り。漢詩をつくり書になる方。月一度米国の孫に航空便を。秘かにクラシックに耳を傾けるベッド生活の方。戦死なされたご主人の遺書に日夜語りかけている方。等々。――×××――

# 紙がなくなる日

鈴木秀 昭 (昭和38年卒)



るころです。

私にとって人生の転機は早くも大学を卒業する年、昭和四十二年に訪れました。世界にははたして総合社への就職を夢見ていました。が、二月月くらい色々悩んで、結果的には家業の紙業界関連会社へ就職しました。

私が津高を卒業した昭和三十八年は、年配の方は覚えてみえると思いますが、火事で校舎が燃えてしまった年です。あれからも三十八年の歳月が流れた同級生は皆五十七歳、油の乗り切った年代になっています。

私も、かのクラーク博士の「少年よ大志を抱け」モードで、大きな夢と希望に胸を膨らませ、社会へ飛び出していきました。が、三十八年後の現実を目の当たりにし「夢と現実の落差」を実感しています。

二千五百年頃、今から四千五百年前と言われている。エジプトのナイル河に生えていたパピルスの繊維を使って作ったもので現在私たちが使っている紙と殆ど変わらないのです。

日本には四世紀頃朝鮮半島で入り、和紙の製造がはじまりました。もし和紙がなかったら紫式部の源氏物語は生まれなかったかもしれませぬ。

十五世紀の半ばにドイツのヨハン・グーテンベルクが印刷機械を発明して紙の大量消費時代を迎えるとともに、これらを契機としてイタリアのルネサンスが花開き産業革命などを経て近代社会が形成されました。

紙がデジタル媒体と大きく違うのは、ハードとソフトが一体化しているところ。持ち運びに便利です。電源がないところでも利用できます。

紙がデジタル媒体と大きく違うのは、ハードとソフトが一体化しているところ。持ち運びに便利です。電源がないところでも利用できます。

紙がデジタル媒体と大きく違うのは、ハードとソフトが一体化しているところ。持ち運びに便利です。電源がないところでも利用できます。

紙がデジタル媒体と大きく違うのは、ハードとソフトが一体化しているところ。持ち運びに便利です。電源がないところでも利用できます。

紙がデジタル媒体と大きく違うのは、ハードとソフトが一体化しているところ。持ち運びに便利です。電源がないところでも利用できます。

紙がデジタル媒体と大きく違うのは、ハードとソフトが一体化しているところ。持ち運びに便利です。電源がないところでも利用できます。

# 母校は遠きにありて思うもの? Hello from San Francisco

マッキオン(丹羽)みどり (昭和43年卒)

電子メールを不用意に開けたら、めいコンピュータ・ウイルスが侵入し、文書ファイルやインターネット機能を破壊されるという被害が続出している米国では、「未知の差出人からの電子メールは開けずに捨てる」というのが常識化して

津高時代の私は、自転車通学でお尻がチカチカ光る制服を平気で着、袖も持たない有様でした。学科は英語が大好きで数学はからっきしダメ。毎日、予習かたがた英語の辞書の例文を読むのに熱中していると五、六時間経つてしまいましたが、数学は宿題をする

つあります。しかし、この常識を破ったお陰で、私はかつて同窓会報に執筆させていたとくどいと思いがけない名譽に浴しました。標題欄の文字が化けていて何の用件やらさっぱり見当もつかない不審なメールを「日本人からだから信用しよう」と恐る恐る開けてみたところ、津高同窓会編集委員の方からの奇稿依頼の通信だったのです。多くの先輩・後輩が多方面で活躍なさっている中で私のような者にお鉢が回って来たのは海外在住者であるという事情によるものでしょう。齢五十を過ぎたせいもありましようが故郷のことが懐かしく、おごがましいとは存じましたが、依頼を受諾しました。

アメリカの高校生気質? 大学入試にもまれた私から見ると、十六歳の我が息子は呑気なもの。「博士号」を持つ両親が特別に出世したわけでも、お金持ちになっただけでも、人間性が優れているわけでもないのを見て、一生懸命勉強する意味は無いと悟ったらしく、インターネットのチャットの合間に必要最低限のことだけやっていると云っています。コンピュータ科学に興味があったり、来夏は各大学のキャンパス巡りをしてどこに出願するかを決めると言っています。あらゆるメディアに信じ難い

私の経歴は簡単に言って、語学文学の学生・教師ということになります。修士までは英文でしたが、博士課程留学中に米国永住を決意し、同時に日本文学に転向しました。外国に出てから故国の文化の良さを知るといふ精神的里帰り組です。現在、カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校の外国語外国文学部長をしています。学部には日中仏独伊西露フィリピン語合わせて五〇名の教官がおり、人文系では英語学部が次々大所帯です。米国の大学教師かつ英語で仕事をしている者として、もし若い英語学習者にアドバイスできることがあるとすれば、それは、高校時代に英文法を徹底的に学習しておくと、文法が出来ないところから単語を覚える必要はほとんどありません。母国語である日本語の力を磨き、専門分野の知識を深めると、そして良い英語で書かれた一般文書

暖炉が赤々と燃えて、昨日買った本を手にする。開くとインキのにおいがかすかにしている。紙の手触り、ページをめくる音、薄いクリーム色の紙の色、これほど人間の五感に訴えるものが他にありません。あ、情報電子化の最先端を行くマイクロソフト社のビル・ゲイツの言葉を最後に引用したいと思えます。



大・自己解放して世界平和の礎づくりに貢献すると確信しています。

ふれた先生方との授業でのやりとり(美術の時間にランドを一周走ると引替えに落第点の1を2に引き上げて頂いたことを記憶しています)や友人との日々の付き合いが懐かしく思い出されます。五十二年に津高を卒業して大学に進学しましたが、この間も経済は低迷を続け、大学卒業の昭和五十六年は、世界的な景気停滞の中にありました。我が国は、昭和三十〜四十年代にかけての高度経済成長下の税収増を背景に福祉や教育を始めとする公共サービスの水準を引き上げてきましたが、昭和五十年代以降の低成長経済への構造変化の結果、公共サービスの伸びを賄えるだけの税収が得られなくなり、財政は構造的に巨額の赤字を抱えていくことになりました。このような状況下で縁あって大蔵省に奉職することとなり、以後二十年が過ぎました。予算、税、金融、海外勤務と経験しましたが、現在は主税局において、法人税の連結納税制度創設を目指して法律案の準備作業を進めています。

ふれた先生方との授業でのやりとり(美術の時間にランドを一周走ると引替えに落第点の1を2に引き上げて頂いたことを記憶しています)や友人との日々の付き合いが懐かしく思い出されます。五十二年に津高を卒業して大学に進学しましたが、この間も経済は低迷を続け、大学卒業の昭和五十六年は、世界的な景気停滞の中にありました。我が国は、昭和三十〜四十年代にかけての高度経済成長下の税収増を背景に福祉や教育を始めとする公共サービスの水準を引き上げてきましたが、昭和五十年代以降の低成長経済への構造変化の結果、公共サービスの伸びを賄えるだけの税収が得られなくなり、財政は構造的に巨額の赤字を抱えていくことになりました。このような状況下で縁あって大蔵省に奉職することとなり、以後二十年が過ぎました。予算、税、金融、海外勤務と経験しましたが、現在は主税局において、法人税の連結納税制度創設を目指して法律案の準備作業を進めています。

# 国の財政に携わって

乙部 辰 良 (昭和52年卒)



津高校に入学したのは昭和四十九年春でした。前年の石油危機を契機として、我が国経済は高度成長に別れを告げて低成長へと構造変化を遂げていったのですが、私たちはただただ自由に満ちた高校生活を楽しんでいました。個性あ

めくれば、一つ一つをこらえれば、どれももっともなものです。しかし我が国の財政はこれらの要全部を同時に満たせる状況にはありません。財政は既に三十年近くにもわたって借金に依存した運営を続けています。平成十三年度の国の予算を見ると、税収は歳出の三分の二を賄っているに過ぎず、残りは借金です。ドイツやフランスが毎年行っている借金は我が国に比べればわずかなものですが、米

# 微力ですが よろしく

橋本喜久男（昭和45年卒）



去る六月三十日の議員会を副会長の指名をいただきました。私「私」が」といのが率直

な感想ですが、折角のご推挙であり、少しでもお役に立つことができれば、お引き受けさせていただきます。また、今回私を副会長に就任されました小柴眞治さんと何十年来のお付き合いで、お互い気が知れた仲間でもあり、その支えをしっかりと受けたいと思います。

「九十一年といえは長い歴史である。しかしわれわれは長いが故の伝統を重んずるべきでないこともよくわかる。長い歴史の間、その時代に於いて前進してきた今日の津高の姿こそ伝統に生きる姿なのである」とも語られています。

あれから三十年が過ぎ、百二十年事業を終えた今、新しい世紀に第一歩を踏み出した母校が、激しく揺れ動く時代に積極かつ柔軟に対応しながら、更に素晴らしい伝統を積み重ね、力強く前進して欲しいと切に願うものであります。

津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

「近況を最近どう？」と聞いて頼まれたのだけれど、僕にとってその手のことを語るのももともと難しいこと。懐かしさのあまりすっかり失念してしまっていました。

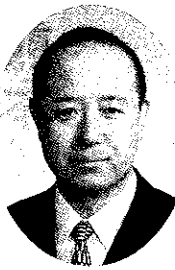
津高を昭和31年に卒業した有志の二度目の旅。卒業後45年たったて友情という大きな輪のもとに元気に大旅行が出来る幸せ。我が31人の旅のスタートに相応しい美しい気品のあるワシントンD.Cを訪ねることが出来たのは大いなる喜びでした。

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

# 同窓会副会長就任にあたって

## 「同窓会」はええもんや！

小柴 眞治（昭和48年卒）



創立以来百二十一年の長い歴史を持つ、伝統ある津高の卒業生であります。ことば私に取りまして、誇りに思ふ次第であります。私自身は、遊んでばかりで出来の悪い生徒ではありましたが、国内だけでなく、世界各地でもさまざまな分野で活躍されている皆様が多々いらっしゃることには誠に同慶の至りでございます。

創立以来百二十一年の長い歴史を持つ、伝統ある津高の卒業生であります。ことば私に取りまして、誇りに思ふ次第であります。私自身は、遊んでばかりで出来の悪い生徒ではありましたが、国内だけでなく、世界各地でもさまざまな分野で活躍されている皆様が多々いらっしゃることには誠に同慶の至りでございます。

自分なりに熟慮しながら今日にいたりました。今は、女将業が楽しくて、天職かなとも思えるようになりました。いろいろな気配りや接待の仕方、接客の方法など、頭の中からは時と離れることはありません。

津高の三つの同窓会が一体化し、現在では全体での集まりはほとんどありません。全国各地や各学年等で、活発に同窓生相互の親睦がはかられていまして伺っています。

津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

津高を昭和31年に卒業した有志の二度目の旅。卒業後45年たったて友情という大きな輪のもとに元気に大旅行が出来る幸せ。我が31人の旅のスタートに相応しい美しい気品のあるワシントンD.Cを訪ねることが出来たのは大いなる喜びでした。

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

## 『若女将』

竹中 直子（昭和55年卒）



縁があった松阪の料亭に嫁いで

から早くも十三年の月日が経ってしまいました。始めの日は、なかなかこのがつかぬ、思えば何を何処かへ行ってみたい、本気で悩んでいました。お陰様で、皆様の温かい励ましのお言葉や、協力を頂きまして

自分なりに熟慮しながら今日にいたりました。今は、女将業が楽しくて、天職かなとも思えるようになりました。いろいろな気配りや接待の仕方、接客の方法など、頭の中からは時と離れることはありません。

津高を卒業された先輩方が、今

津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

津高を昭和31年に卒業した有志の二度目の旅。卒業後45年たったて友情という大きな輪のもとに元気に大旅行が出来る幸せ。我が31人の旅のスタートに相応しい美しい気品のあるワシントンD.Cを訪ねることが出来たのは大いなる喜びでした。

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

# 卒業から十九年が経って

川端 康 生（昭和58年卒）



津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

津高を卒業してから十九年、この仕事を始めてからでも、もう十五年が経とうとしている。...

## アメリカ・カナダの旅八日間

守屋みどり（昭和31年卒）

津高を昭和31年に卒業した有志の二度目の旅。卒業後45年たったて友情という大きな輪のもとに元気に大旅行が出来る幸せ。我が31人の旅のスタートに相応しい美しい気品のあるワシントンD.Cを訪ねることが出来たのは大いなる喜びでした。

## 卒業五十周年記念同窓会

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

卒業五十周年記念同窓会を五月二十日（日）に「アストン」で開催しました。今回は三ツ村健吉先生、岩田直衛先生をお迎えし、級友一六五名の参加を得る等、当初の世話人一同の予想を大きく上回る盛況ぶりでした。

平成十二年修学旅行

行き先は世界遺産!?

田中洋子(3年)



昨年の十月二十日は朝から雨で...

した。この日、他学年の先生方にも...

見送られながら私達は「豪華客船...

屋久杉、千年未満の杉は小杉、百...

のですが、今では人口が減り、サ...

【協力ありがとうございました。...

【陳川(部)】...

【三重校の部】...

熊本インターハイに参加して

山岳部 横山聡美(3年)

登山のインターハイと聞いて、「そんな...

成には、食事ひとつひとつのカロ...

です。体力は少し全国レベルには...

【美術部、美術科活動成績】...

賞(自由図書) 藤作朋宏、優秀賞...

昭和十八年卒 山崎茂郎、豊田...

昭和十九年卒 清水吉雄、伊藤有...

昭和二十年卒 前川孝治、清水正...

美術部だより

津高校教諭(美術部顧問)

月輪 清

昨年の津高創立百周年記念の同...

合文化センター生涯学習センター...

【美術部、美術科活動成績】...

昭和十八年卒 山崎茂郎、豊田...

昭和十九年卒 清水吉雄、伊藤有...

昭和二十年卒 前川孝治、清水正...



津高創立百二十周年募金寄付者二芳名(敬称略)

【協力ありがとうございました。...

【陳川(部)】...

【三重校の部】...

昭和十八年卒 山崎茂郎、豊田...

昭和十九年卒 清水吉雄、伊藤有...

昭和二十年卒 前川孝治、清水正...

昭和二十一年卒 森本純弘、村上...

昭和二十二年卒 川合健二、長田...

昭和二十三年卒 柳瀬薫一、谷川...

昭和二十四年卒 吉川貞郎...

昭和二十五年卒 渡辺敦雄、浅野光雄...

昭和二十六年卒 佐治俊一、久野九右...

昭和二十七年卒 吉村 弘、中尾一...

昭和二十八年卒 坂田法宣...

昭和二十九年卒 柳 龍男、中野欣...

昭和三十年卒 近藤 明、紀平英男、戸澤...

昭和三十一年卒 尾鍋文二...

昭和三十二年卒 駒井 進、川北敬...

昭和三十三年卒 上田倫雄、小川雄...

昭和三十四年卒 金丸幸太郎、木村 潔、宮...

昭和三十五年卒 倉田親義、野田研一、羽...

昭和三十六年卒 前川由平、中村俊...

昭和三十七年卒 森谷千秋、堀川...

昭和三十八年卒 黒川忠文、別所 茂、戸澤又...

昭和三十九年卒 山崎茂郎、豊田...

昭和四十年卒 伊藤 洋、松原十四生、島川...

昭和四十一年卒 甲子三、松岡 晃、吉田清一、青...

昭和四十二年卒 清水吉雄、伊藤有...

昭和四十三年卒 浅野 宏、野田 貢、中谷和...

昭和四十四年卒 藤谷進生、中道 恂...

昭和四十五年卒 岩崎成人、鈴木心人、奥村長...

昭和四十六年卒 宮村元親、徳田治美、齋木和...

昭和四十七年卒 生 吉川 晴...

昭和四十八年卒 昭和二十年卒 大角哲哉、藤高...

- 昭和二十一年卒 森本純弘、村上志郎
昭和二十二年卒 川合健二、長田昇、井土熊野、太田 功、藤田百助、西井龍雄、玉置和範、桑名 登
昭和二十三年卒 柳瀬薫一、谷川 允厚、好田 清、村田文男
昭和二十四年卒 吉川貞郎
昭和二十五年卒 渡辺敦雄、浅野光雄、一、島村 淳
昭和二十六年卒 佐治俊一、久野九右、天野敬司、浅尾 成、眞弓啓次
【三重校の部】
大正七年卒 鈴木 えつ
昭和二年卒 綿谷茂子、伊藤清子
昭和七年卒 伊藤美智子
昭和八年卒 足立國子
昭和十年卒 榎原萬亀
昭和十一年卒 青木秀子、瀧美孝子、倉田包子、土保ゆを
昭和十二年卒 土屋貞子、小津加代子
昭和十三年卒 上田千代子、富増みき、岡ミチ
昭和十四年卒 高田佐津子、大川道子、清水千代子、遠藤広子、杉山伊都子、杉 信子、竹井美子、丹羽 数、大久保和子、二見つた子、星野不二子
昭和十五年卒 濱口和子、斎藤貞子、山川美知子、中野美智子、岡 久子、杉尾 茂、角谷伊代、稲垣かず子、小澤 敏、宮川 敏、藤田敏子、坂口みほ子、片山文代、富岡志志、中西千枝、福岡てる子、田中ひで子、山口静子、和田正子、山本三子、清水富子、若菜淳子、稲葉 香、尾崎さとみ、杉山みさを、本居信子、加藤明子、伊藤澄子、篠田智恵子、南部拙子、加藤みね子、山下鏡子、松浦 茂、米川米子、速水 美、高橋美恵、駒田千津、中島彰子、藪谷喜貞子、近藤 正、松井美子、佐藤キミ子、前田とみ、高階 秋、上田 静、森谷代子、鮎川英子、中尾美代子、森田明子、穂山芳子、山形たづる、小坂 衛、岡村富子、鈴木 昭和三十二年卒 井端泰子、土居アヤ子、中谷君子、林 良江、今中夢子、伊藤れい子、青木絹子
昭和二十四年卒 松岡紀子、田中

津高進路事情

進路指導部主任(谷口勝昭) (昭和48年卒)

いつまで続くかわからない泥沼の嵐気停滞、戦後未曾有の大失業者時代、日本社会の構造改革、情報通信革命の浸透、ますます苦悩する教育現場、情報公開時代の到来、等々から考えて、我が国がひとつの大きな曲り角にさしかかっていることは間違いないと断言している。このような状況の中で、日本の教育事情も大きく変化しようとしています。国立大学の独立行政法人化、拠点三十三大学構想などもそのひとつのあらわれで、国立大学協会が二〇〇四年度より導入を予定しているセンター試験の五教科七科目の導入も、このこと決して無関係ではないと思えます。また、三重県内の国立高等学校再編活性化基本計画も現実に実施に向けて動き始めています。以上のことを考慮に入れると、今学校としていかに舵取りをしていくかが、おそらくは今後数十年の本校を決定づける気がしてなりません。その意味では、これまでの良き伝統の上に何を継ぎ承るかの、進路指導部としても絶えず意識せざるを得ないと思っております。

さて、今年三月の卒業生の進路状況ですが、良い面と悪い面があったと思えます。良い面としては従来になく国立・私立ともに関東方面の大学を目指す者が多くなったこと、そればかりか海外留学組も少なからず存在したことが挙げられます。従来の枠にとらわれないことなど大きな夢を追いかけて欲しいと思います。悪い面としては、受験勉強を頑張ってきた生徒も例年になく多かったです。反面受験勉強がもう少しの間で合わなかった生徒が少なくありませんでした。幸いにも心機一転頑張っているような卒業生が揃っています。現役組も心を締め固めて取り組んでおり、学年団と進路指導部も緊密な協力体制を敷いていますので、来年の三月は近年にない大

校でも特に二、三年で大きく変化し始めたと感じています。またまだいまだらめ点がありますが、少なくとも古き良き時代の「生徒まかせ」ではありませぬ。私自身も卒業生の端くれなので以前はそういう面があったように思いますが、これからの時代にあつた方法を現在模索しているところです。皆様もこういった動きに対してだければ、と願っています。

最後にになりましたが、今年度の進路指導部の取り組み目標は①ひとりひとりの願いを大切にすること、②データを活用した進路指導(ガイダンス)をより充実させる、③自らの能力・適性について考え、大学で何を学ぶか、社会に出てからどんな職業に就くのかを明確にする。この三つです。以上の三つの指導を軸にして、未来と世界に向かっただけでも、志のある生徒を育てたい、と考えています。どうかこれまで以上に同窓会の方々のご理解、ご協力をお願い申し上げます。次策です。

・最近の進路指導面では、データ処理・情報収集の重要性が増しています。本校でも改善に改善を重ねて迅速化し、折に触れての教員間での進路勉強会、あるいは保護者会などの目的を射た有意義な資料を出すことができるようになりまして、外部と提携して、生徒がインターネットを通じてさまざまな資料を取り寄せたり、あるいは自分の成果を検証したり、先生方が進路資料を独自に作成することもすでに始まっています。

・今年度はこれに加えて新たに、適性検査を全学年の希望者に実施しました。最近の高校生の特徴として自分の進むべき進路に悩む者が多くこのようになっていると取り入れてみました。実施する前は申し込み者が五、六〇名程度かなと思っていましたが、予期に反して三〇〇名程度が参加してびっくりしました。アンケート結果から見ると、参加したかなりの生徒が、少なうとも自分の進路を見つめようという意欲がかなり高まっているように思えます。この他にも、数年前より大学入試問題研究会や大学説明会を実施し、年々その数も増やして少しでも生徒に、より正確で有益な情報を提供するよう心がけています。時代は大きく変わり、進路指導のあり方も全国的にみてもまた本

第11回三重校寄宿舎生同窓会の記

11回当番幹事一同

この度は、係の私たちが生まれ年、三重校を卒業された先輩から、少し若い後輩まで、お客様をお迎えするにあたり、この三年、常に緊張し、この日の事は片時も頭から離れませんでした。今年四月、この会では初めての泊りの会でありながら、三十六人の出席の返事を頂き、六月八日

したとき、「学びの来し方行く末」「原子の世界」と題する興味深い話を聞かせていただきました。最近の進路指導面では、データ処理・情報収集の重要性が増しています。本校でも改善に改善を重ねて迅速化し、折に触れての教員間での進路勉強会、あるいは保護者会などの目的を射た有意義な資料を出すことができるようになりまして、外部と提携して、生徒がインターネットを通じてさまざまな資料を取り寄せたり、あるいは自分の成果を検証したり、先生方が進路資料を独自に作成することもすでに始まっています。

(大学合格者数)

Table with 5 columns: 国立, 公立, 私立, 短大, and rows for H13, H12, H11, H10 years.

(主要大学合格者数)

Table with 34 columns for various universities and rows for H13, H12, H11, H10 years.



お祈り致しつつ、報告を終わらせていただきます。

- List of names and graduation years (e.g., 美智子、昭和二十九年卒, 昭和三十二年卒, etc.)

お知らせ

平成十四年度 同窓パーティー

日 時 平成十四年八月三日(土) 午後三時より

場 所 アスト津 六階

ホテルグリーンパーク津

担当学年幹事 昭和44年卒(代表 武内 徹郎) 昭和56年卒(代表 石居 紀子)

平成十四年度同窓パーティー案内

武内 徹郎(昭和44年卒)

平成十四年度同窓パーティーは西暦二〇〇二年八月三日に津駅に隣接する「アスト津」六階の「ホテルグリーンパーク津」という新しい会場で、昭和四十四年卒と五十六年卒が担当して開催いたしました。

過去・現在・未来、人それぞれ夢は違ってもはじまったばかりの21世紀、夢のある生き方をしましょう。「21世紀...夢に向かって」をテーマに企画します。美味しいものを食べて飲んで、おしゃべりをして、音楽を聴いて

夢ごちの楽しいパーティーにしたいと考えています。来年のパーティーはどんな企画かなと夢をもつてご期待ください。幅広い年代の皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。

各地で同窓会開催

東京同窓会

東京同窓会は五月二十六日霞が関ビルで行われ、出席者は百六十人であった。役員改選の後、勲二等瑞宝章を受けられた加藤清一會長に花束が贈られて、会は楽しいお祝ひ気分が始まった。會長の挨拶に続いて鈴山校長から自主、自律の校風を受け継ぐ生徒達の活発な生活振りを、岡村本部長からは同窓会の近況を、恩師を代表して三ツ村健吉先生からは昔の思い出を語られた後、近藤津市長が津市の明るい未来の展望をサイエンスシティの計画などを語られた。来賓の鈴山先生の乾杯の発声で懇親会に入り津高出身の衆議院議員中山正春氏も出席される等多彩な顔ぶれの中、竹林武一本部副會長の話に会場は笑いに溢れ、新入會員のさわやかな話には拍手がわいた。



今年から輪番幹事制となり高校の三年間を津高で過ごした最初の学年である二十六年卒の有志が幹事を勤め、心づくしの赤福と清観

今年から輪番幹事制となり高校の三年間を津高で過ごした最初の学年である二十六年卒の有志が幹事を勤め、心づくしの赤福と清観

九州同窓会

第十二回津高九州同窓会が平成十三年五月二十七日(日)福岡市で開催されました。



本年度は、松田 悟氏(昭和58年卒)の長女・京子ちゃん一歳半の出席で、例年にも増してアットホームの雰囲気懇親会となりました。最後は津高応援歌の作曲者・喜田治男氏(昭和28年卒)と共に先ず応援歌を、次いで津高・津中・津高女の校歌を斉唱して来年の再会を期しました。

井田 佑(昭和28年卒) 予算、副會長・常任幹事交代を中心とする役員改選、事務局体制変更などが報告された。

名古屋同窓会

平成十三年度津高名古屋同窓会が九月十五日(土)名古屋東急ホテルにて、本部長 富田副會長、松井副會長、鈴山校長、鈴木教諭をお迎えして開催されました。当日の参加者は岡田會長をはじめ約百五十名と例年を上回る多数となり大いに盛りあげられました。

京都堀川の朱雀の間で行われました。二百人に絞って案内状を出しました。例年の出席メンバーが病氣や不都合等で出席者が減り、かなりのメンバー変更になりました。中西副會長の司会で、中井會長、富田副會長、岡田副會長の挨拶に続き、鈴山校長先生の津高創立百二十一年の発表、クラブ活動の頑張りの現在の報告、六十五分五限授業等の教育改革についてご挨拶を頂いた後、式次第に沿って進行し、終了しました。尚、清水勝馬会計監査のたつての希望で監査役辞退を受けて、後任に小西孝氏が当たる旨認められました。

大阪同窓会



第三回津高大阪同窓会が晩秋の青空を背景として十一月十一日大阪中津の三井アバンホテルで百三十余名の同窓生の出席のもと開催されました。 本部からは副會長の鳥羽、竹林のお二方、津高からは近藤教頭、鈴木先生、恩師の家垣、久岡の両先生にご出席いただきました。 冒頭昨年の物故者への黙禱を捧げたのち、會長、來賓の挨拶があり、その後、今回で會長を勇退される佐野會長の後任に昭和33年卒の奥田 務様(大丸 社長)を満場の拍手をもって選任しました。 会務報告のあと、奥田新會長が発壇され、新會長としての決意と抱負を述べられるとともに、百貨店の店頭から見た消費動向と題して、贅沢品とお値打ち品とをうまく使い分ける消費の二極化等貴重な講演を行いました。

平成十三年度総会報告

実行副委員長 大森 雅彦(昭和55年卒)

平成十三年度同窓会総会・パーティーは昭和四十三年卒と昭和五十五年卒の二年が担当し、去る八月四日(土)午後、津都ホテル・津センターパレスホールを会場に、二十一世紀...はじめての出逢いのテーマの下、八百十一名の同窓生の参加を得て、盛大に行われた。



総会は、同窓生であり、恩師でもある歌手、稲葉祐三氏の校歌独唱で開会。物故者黙禱、岡村同窓會長・鈴山校長挨拶の後、代議員

報告が行われた。昨年度事業報告、決算報告、今年度事業計画、

長音頭の乾杯で始まり、旧友と思いで語り合った。センターパレス会場では、「弘田龍太郎を歌う」が奇唱で重謡を奏した。都ホテル演奏による「オルフェウスを歌う」で、青春を思い出し盛り上がった。最後に、五十五年卒応援団のリーダーにより、三校の校歌、応援歌などを大きな声で歌い、同窓生としての団結と、四十四年卒、五十六年卒が幹事として運営する来年の総会での再会を誓いつつ閉会した。

第三十五回総会は、十月二十八日(日)初めての会場であるルビ

最後は、陳川の皆さんの応援歌と凱歌、プロジェクトの高校三年生、そして校歌斉唱と続き、若手の首頭で万歳三唱をし、来年の再会を誓いつつ閉会となりました。

四〇年卒は、団塊の世代のはじりですが、今年は五五才、同窓会では弱輩ながら、郷土のありがたさに感謝もひとおの一日でした。 若本 豊(昭和40年卒)

三四年卒例会のお知らせ

八月三日(土)六時よりアラザ洞津において、例年通り同窓会総会後の集まりを計画しています。津市在住の方はもちろん、近辺にお住いの皆様のご出席をお待ちしています。奮ってご参加下さい。なお、詳細については、幹事におたずね下さい。

事務局だより

津高同窓会ホームページを十一月の閉会しました。是非、一度ご覧下さい。ご意見・ご感想等お待ちしております。自由に書き込み出来る掲示板も始動しておりますので活用ください。また、リンクを希望の方はご連絡下さい。学年同窓会も独自にホームページを開かれる場合は、同窓会本部のホームページで無いことが、はっきりわかるようにお願いします。

★お詫びと訂正 会報37号「ページ」射撃を「射撃を射し」誤記を訂正させていただきます。